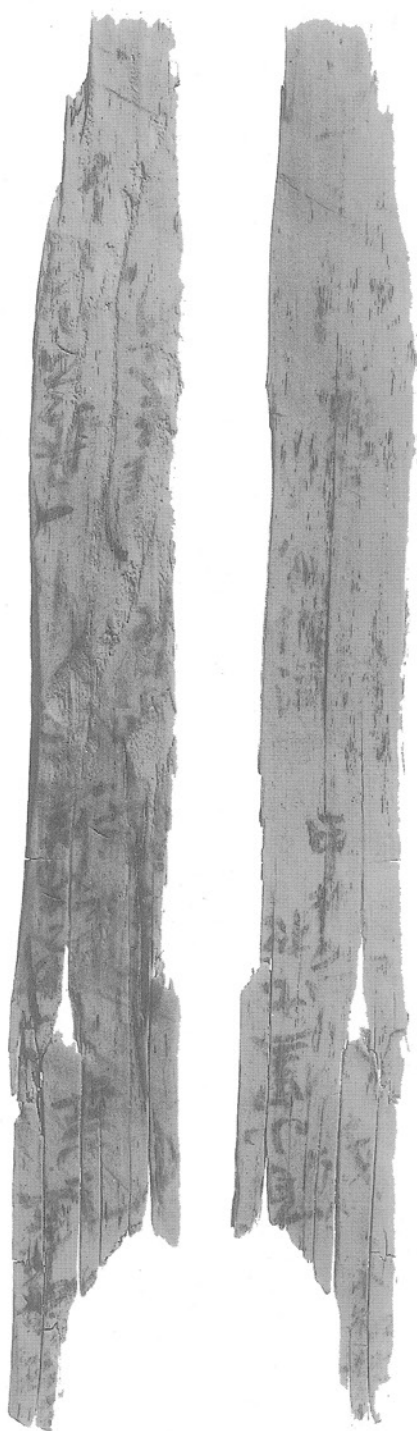




(2) 赤外線デジタル写真



(2)

本簡の年代については、まず二次文書については、「□暦八年」は延暦八年（七八九）とみられる。天平宝字三年（七五九）に「君」から「公」に改められた「日下部公」の表記が見えることも矛盾しない。一方、一次文書に見える東国防人は、天平宝字元年（七五七）に停止され、天平神護二年（七六六）に復活（筑紫に留まっていた旧東国防人の徴発）、その後延暦一四年（七九五）に廃止されている。本簡の一次利用と二次利用にはあまり時期差を考えにくいから、一次文書は東国防人が復活してから廃止されるまでの天平神護二年から延暦一四年までの間までのものとみるのが無難で、延暦八年をそう遡らない時期のものとみることができる。このように、(2)は防人制末期の時期の貴重な史料ということができよう。防人が任地において「戍人」と呼ばれていたことを確認できたことも大きな成果といえよう。

なお、今回の再釈読及びその解釈にあたっては、国立歴史民俗博物館の平川南氏と、関東学院大学の田中史生氏のご教示を得た。

8 関係文献

国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所・佐賀県教育委員会『古代の中原遺跡―解き明かされる鏡の渡し―』（二〇〇五年）

（小松 譲）

『本簡研究』バックナンバー在庫状況のお知らせ

頒価

一〜四・七号	品切れ	五・六号	三五〇〇円
八〜一二号	三八〇〇円	一三号	四三〇〇円
一四・一五号	四五〇〇円		
二四・二五・二七号	五〇〇〇円		
一六〜二三・二六号	五五〇〇円	(五・六号は残部僅少)	

送料

一冊	六〇〇円	二冊	八〇〇円	三冊	一〇〇〇円
四冊	一二〇〇円	五〜一〇冊	一五〇〇円		
一一〜二〇冊	二〇〇〇円				

◇個人でのお求めは代金前納です。代金と送料を郵便振替
〇一〇〇〇—六一一五二七 木簡学会
までお送りください。

◇公的機関の場合は代金後納で結構です。

左記の銀行振込か右記の郵便振替でお願いします。

口座番号 みずほ銀行西大寺出張所

普通預金 一一一〇三二五

口座名 木簡学会 栄原永遠男（さかえはら とわお）

お問合せは左記へどうぞ

〒六三〇—八五七七 奈良市二条町二丁目九番一号

奈良文化財研究所

都城発掘調査部史料研究室気付

木簡学会

電話 〇七四一一三〇—六八三七

E-mail: mokkan@nabunken.go.jp